

市町村名	石垣市								
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】									
事業名	石垣市資源循環アイランド推進事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-イ クリーンエネルギーの推進			
担当部課名	農林水産部	農政経済課	事業実施 年度	平成 25	平成 30	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	-10-(1)	
事業内容	離島である本市が掲げる『環境と共生したエコアイランド』を実現し循環型社会の形成を図るため、生ごみ等を原料にしたメタン発酵プラントの導入に向けた検討及び実証を行う。								
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他()				
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		~H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計			
	A. 予算現額	42,669	20,930	42,705	33,484	139,788			
	B. 執行済額	41,457	19,509	38,632	28,992	128,590			
	うち 交付金充当額	33,165	15,607	30,905	23,193	102,870			
	執行率(%) (B/A)	97.2%	93.2%	90.5%	86.6%	92.0%			
執行状況の説明	最終的な執行率は92%であり、概ね計画どおりに執行できた。不用額は、主にプロポーザル実施後の随意契約等による執行残である。								
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況						
				H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	「石垣市資源循環産業都市構想(仮想)」の検討(メタン発酵テストプラントの整備)		目標	テストプラントの整備					
			実績	テストプラントの整備					
	無加温等による性能調査		目標		成分分析調査				
			実績		成分分析調査報告書				
	消化液肥散布による作物の生育調査		目標		生育調査				
			実績		未実施				
	生ごみ収集方法の確立のために先進地視察		目標		先進地視察				
			実績		実施				
	作物への消化液散布		目標			実施			
			実績			実施			
	メタン発酵テストプラント通年運転		目標			実施			
			実績			実施			
	ほ場実証試験拡大(野菜・水稻など)		目標				実施		
			実績				実施		
	実証試験設備(プラント性能調査)		目標				実施		
			実績				実施		
	生成物分析(メタン発酵生成物分析)		目標				実施		
			実績				実施		
地域循環実証(農産物試用、生ごみ分別)		目標				実施			
		実績				実施			
堆肥化設備の導入に向けて、原料(生ごみ等)の供給量や堆肥(液肥)の利用量を調査		目標				実施	調査		
		実績				実施	調査完了		

	成果目標(指標)	進捗状況					
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
事業期間中の 成果目標	液肥の供給体制の構築	目標	実施				
		実績	テストプラント の整備				
	テストプラントの性能調査を行なうことで、より 安価な実機製作に向けた報告書を作成	目標		作成			
		実績		作成			
	循環型農業確立へ向けた報告書を作成	目標		作成			
		実績		未作成			
	本市に最適な生ごみ収集方法の基礎資料の 把握	目標		把握			
		実績		把握			
	散布結果分析報告書等の作成	目標			報告書作成		
		実績			報告書作成		
メタン発酵テストプラントの通年運転の実施	目標			実施			
	実績			実施			
資源の有効利用、環境保全効果、産業振興 効果等を取りまとめた報告書の作成完了	目標				報告書作成		
	実績				報告書作成		
堆肥化設備の導入に向けた報告書の作成完了	目標					報告書作成	
	実績					報告書作成 完了	

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) 中期にわたる事業効果 後年度に発現する事業効果	達成 / 進捗状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度 目標/発現年度
事業完了後の 成果目標	民間1社による設備導入	目標					1社
		実績					0社
	状況説明	目標					
		実績					
		【R1年度】 ・民間による設備導入については、R1年度中での導入には至っていないが、一部の農業生産法人でバイオマスを利用した循環システムの 設備導入の動きがある。					

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
【R1年度】 ・液肥の効果がさとうきびに有効であることは実証できていることから、家庭 や飲食店等の生ごみを資源として活かせる仕組みづくりを構築していく必要 がある。	【R1年度】 ・市内全域でバイオマス事業が展開できるよう政策的な検討を進め、農業 関係事業者、ホテル、飲食店等への周知に取り組んでいく必要がある。ま た、市の環境施策の普及・啓発に向けて、公的機関での資源循環につい て検討を行う必要がある。

今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)

【R1年度】 ・民間による資源循環システムの構築が進められるよう、バイオマス事業の展開・拡充の仕組みづくりについて検討を行う。また、市給食センターでの フードロス処理について検討を進めていくこととする。

市町村名		石垣市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	花満開いしがきじま事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-工 観光客受入体制の整備			
担当部課名	建設部	都市建設課 施設管理課	事業実施 年度	平成 29	- 平成 29	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所 - 1 - (1)		
事業内容	石垣市の観光地としての新たな魅力の創出を図るため、都市公園等などの公共空間において、さくら等の植樹を行う。							
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他()			
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計		
	A. 予算現額	33,568				33,568		
	B. 執行済額	32,996				32,996		
	うち 交付金充当額	26,396				26,396		
	執行率(%) (B/A)	98.3%				98.3%		
執行状況の説明	・H29年度は調査設計による配植の検討において、課題抽出、関係機関及び周辺地区の商業施設との計画の調整等に不測の日数を要したため、翌年度に繰り越した。 ・最終的な執行率は98.3%であり、概ね計画どおりに執行できた。							
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
				H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	さくらの植樹の実施	目標	実施					
		実績	実施					
	観光中心地(730交差点付近)の樹木整備	目標	樹木整備					
		実績	樹木整備					
	目標							
	実績							
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況					
				H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	さくら植樹の完了	目標	完了					
		実績	完了					
	観光中心地(730交差点付近)の樹木整備の完了	目標	完了					
		実績	完了					
	目標							
	実績							

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) 中期にわたる事業効果 後年度に発現する事業効果	達成 / 進捗状況				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	魅力が創出されたか(80%以上)を含め、アンケートで検証する	目標				80%
		実績				100%
		目標				
		実績				

状況説明

[R1年度]
 ・市民や観光客が訪れる都市公園などの公共空間において南国らしい樹木や季節に花をつける樹木を植樹することについて、魅力が創出されたかを検証するためアンケートを実施したところ、多くの方に好印象を得ることができていた。

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
--	---------------------------------------

[R1年度]
 ・アンケートを検証したところ、植樹したことについての評価は好評であったが、植樹する樹木の種類の数や植樹する本数など物足りないとの意見もあった。

[R1年度]
 ・植栽については、市民や観光客の目を楽しませる、印象付ける場所となるように、植樹済み樹木の適正管理に加え、南国らしい樹木や季節に花をつける樹木を増やしていくことを検討していく必要がある。

今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)

[R1年度]
 ・今後の植樹整備では、アンケートの意見を踏まえ、より魅力が創出される樹木の選定及び植樹を行うとともに、隣接する商店や地域の老人会等の協力を得ながら、南国の観光地に相応しい空間づくりに取り組むこととする。

市町村名		石垣市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	美ら星ゲート構築事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ウ 文化コンテンツ産業の振興		
担当部課名	企画部	観光文化課	事業実施 年度	平成 28	- 平成 29	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	- 1 - (1)
事業内容	市街地において、「星の島」としての石垣島の魅力を発信し、観光誘客を図るため、プラネタリウム(多目的ドームシアター)の設置に係る実施設計、コンテンツ制作及び建築工事を行う。						
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他()		
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	合計	
	A. 予算現額	7,720	363,960			371,680	
	B. 執行済額	7,720	361,260			368,980	
	うち 交付金充当額	7,145	289,008			296,153	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	99.3%			99.3%	
執行状況の説明	・H29年度は映像コンテンツの制作等について、天候等の影響により撮影や取材に不測の日数を要し、年度内の工事完了に至らなかったことから、翌年度に繰り越した。 ・最終的な執行率は99.3%であり、概ね計画どおりに執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	調査報告書の策定	目標	策定				
		実績	策定				
	プラネタリウム建築に係る実施設計の実施	目標		実施			
		実績		実施			
プラネタリウム建築工事の実施	目標		実施				
	実績		実施				
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	調査報告書の策定完了	目標	完了				
		実績	完了				
	プラネタリウム建築に係る実施設計の完了	目標		完了			
		実績		完了			
プラネタリウム建築工事の完了	目標		完了				
	実績		完了				

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	中期にわたる事業効果 後年度に発現する事業効果		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度 目標/発現年度
	供用開始後1年目(平成30年度予定)の目標を以下のとおりとする。 年間入場者数45,000人	目標					45,000人
		実績					8,000人
		目標					
	実績						
状況説明	<p>[R1年度]</p> <p>・本施設については、R1年7月20日に供用開始し、R1年度はおよそ8ヶ月の運営を行った。供用開始にあたっては、広報活動を展開し、施設のPRを行ってきたが、供用開始後に複数回の台風襲来があったほか、年度末には新型コロナウイルスの感染拡大に伴う観光分野への影響も生じたことから、施設の入場者数は、目標値を達成することができなかった。</p> <p>・目標の年間入場者数については、後年度目標の設置時において1日の上映回数を10回としていたが、供用開始後の上映回数は映像コンテンツや施設運営時間から7回程度となっていることから、これについても目標達成に至っていない要因のひとつと考えられる。</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>[R1年度]</p> <p>・広報宣伝に注力しているものの、まだ認知度が低いことが入場者数の低迷に繋がっていると思われる。</p> <p>・来場者の割合は、島外61%、島内39%となっている。</p> <p>・星に関するイベントを開催し、星文化の学習の場とした。</p>			<p>[R1年度]</p> <p>・認知度向上や施設の魅力発信に最大限努める必要がある。</p> <p>・石垣島に訪れる観光客のニーズをはじめ、他のプラネタリウム施設や星空ツアーの客層等の分析について行う必要がある。</p> <p>・施設の重要な要素の一つとして、計画的にコンテンツの幅を広げる必要がある。後の変化を許容することや、企画の可能性を制限せず、適宜、映像や企画内容をブラッシュアップしていく必要がある。</p>				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>[R1年度]</p> <p>・当施設の紹介を引続き各種メディア媒体を利用して行うとともに、旅行代理店等との連携を図り誘客に繋げる。</p> <p>・星空ツアーの行程の一部に当施設を組み入れることができないかツアー事業者と調整を行う。</p> <p>・星の島であること発信し、自然科学や歴史のファンなどが集うようなコンテンツ、子ども向けのサイエンスショーなどについての検討を進めていくこととする。</p>							

市町村名	石垣市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	島野菜・ハーブの生産、加工、販売推進事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (7) ア おきなわブランドの確立と 生産供給体制の整備		
担当部課名	農林水産部	農政経済課	事業実施 年度	平成 28	- 平成 29	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所 - 1 - (6)	
事業内容	島由来の野菜やハーブの安定的な生産を推進し、新規加工商品の開発や販路拡大に向けた環境整備と体制の構築を目指すため、生産農家、流通業者、加工事業者等関係機関と協働し、方向性及び取り組み内容を盛り込んだ振興プランを策定する。						
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他()		
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	合計	
	A. 予算現額	9,504	7,722			17,226	
	B. 執行済額	9,504	7,720			17,224	
	うち 交付金充当額	7,603	6,176			13,779	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%			100.0%	
執行状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・H28年度は対象農家からの情報収集の日程調整に時間を要したため、翌年度に繰り越した。 ・H29年度は石垣市島野菜・ハーブ振興プラン(仮称)策定協議会において出された検討材料の充実が必要との意見を踏まえ、開催スケジュールの見直しを行ったため、翌年度に繰り越した。 ・各年度とも繰越後は事業計画どおり執行した。 						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	生産状況及び流通経路調査の実施	目標	実施				
		実績	実施				
	島野菜・ハーブの生産、加工、販売振興プラン 策定業務委託の実施	目標		実施			
		実績		実施			
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	生産状況及び流通経路調査の完了	目標	完了				
		実績	完了				
	島野菜・ハーブの生産、加工、販売振興プラン の策定完了	目標		完了			
		実績		完了			
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	中期にわたる事業効果 後年度に発現する事業効果		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度 目標/発現年度
	野菜・ハーブの生産者戸数84戸	目標	77戸	79戸	80戸	83戸	84戸
		実績	47戸	61戸			
		目標					
実績							
状況説明	<p>[H30年度] ・事業効果を計るための指標は、平成28年度時点における野菜・ハーブの生産者戸数70戸から20%増の84戸であり、平成30年度から令和4年度までの5か年をかけて14戸の増を目標としている。 14戸に対する各年度の目標値は、平成30年度50%増(7戸増)、令和元年度65%増(9戸増)、令和2年度75%増(10戸増)、令和3年度95%増(13戸増)、令和4年度100%増(14戸増)としている。 これに対し、平成30年度実績は47戸と目標値を下回る結果となっている。</p> <p>[R1年度] ・ハーブの生産者数は前年度(平成30年度)と比べ29%増の61戸となっており、今後、同水準で伸び続ければ目標達成年度までには目標としている84戸を達成することができる。 ・命草利活用講習会と題し、7回の講座を行い約40名の受講者にハーブのレシピ等を紹介し、ハーブの活用方法を伝えた。</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>[H30年度] ・生産者戸数が低調となっている要因については、市内需要量、連作障害、地力低下等による生産性の低下などの課題があると思われる。</p> <p>[R1年度] ・生産者数は伸びているが、消費が島内だけであるため生産量の頭打ちが懸念される。 ・生産者の増加と共に消費者の開拓を行い、農家所得の増加を図ることが今後の大きな課題となる。</p>			<p>[H30年度] ・島野菜やハーブの需要規模の拡大を図るため、各主体間の情報交流、相互理解の仕組みづくりに努めるとともに、6次産業化への展開を図るなど、島野菜・ハーブの認知度向上、魅力発信に取り組む必要がある。 また、生産基盤等の強化のため、より関係機関との連携を図る必要がある。</p> <p>[R1年度] ・島野菜・ハーブの品質向上、生産基盤の強化、流通コスト軽減の方法を検討する。 ・島野菜・ハーブの認知度向上のためのイベントや情報発信方法の検討を行う。</p>				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>[H30年度] ・JA沖縄八重山支部野菜生産部会、JAファーマーズマーケットやえやま生産者会など関係機関と連携し、島野菜・ハーブ料理講習会の実践、ハーブ等を利活用した健康をテーマにするウェルネス事業などへの展開を図ることで、島野菜・ハーブのネームバリューの向上、地域経済規模の拡大に取り組む。 また、島野菜・ハーブ農業向けハウスの導入支援など、生産基盤等の整備を検討する。</p> <p>[R1年度] ・生産の拡大に向け販売を行う事業者からも販路拡大への意見を聞きとりを行い新し消費者の開拓を行う。 ・島野菜・ハーブの認知度向上の為、生産者から発信する料理等への活用方法について、販売者と一緒に広報を行っていく。</p>							